

いわき探検記



2023年 6月 Vol.16
地域おこし協力隊
辻村 春香

オオヤマザクラが散ったな~と思っていたら、5月とは思えない暑い日が時々やってきました。

気がついたら、沖縄のほうでは台風2号の知らせが。季節の移り変わりが早いですね。

企画・運営に携わっています!

居場所づくり “みんなの居場所ステッフ44”

5月28日(日) どんご田植え! 実施しました(五代)

予定変更に伴い、私は参加できなくなりましたが、居場所づくり団体の代表・鈴木さんの農園で田植え体験がおこなわれました!

参加者は2組7名のご家族。
1組は岩木地区の父子、1組は泉野地区の5人家族。

みなさん、雨の中、お疲れさまでした!!
初めての田んぼに、どんごになりながらこども4人が一生懸命田植えをし、保護者の方々も一緒に楽しく過ごされたようです。



どんごまみれになりながら、一生懸命田植えする男の子。おとな顔負けで、この日いちばん活躍していたそうです!

次回は、この“いわき探検記”が回覧されている頃。
6/17(土)のりんごの実すぐり体験(募集終了)です!!

次回予告

7/8(土) こぎん刺しを刺してみよう!(募集中)

私のご近所さんでもある、ゆめみるこぎん館・館長の協力を得て、こぎん刺しのワークショップをおこないます。

夏休みの宿題、フライイングでいかがでしょうか?

初心者向けのこぎんフレームキット(同館より)を使用し、私がこぎん刺し指導をいたします。(館長は所用があつて体は参加できず。心と材料で参加してくださいませ。)

う~ん、とても不安。
精いっぱいやりますが、教え方が下手だったらごめんなさい。

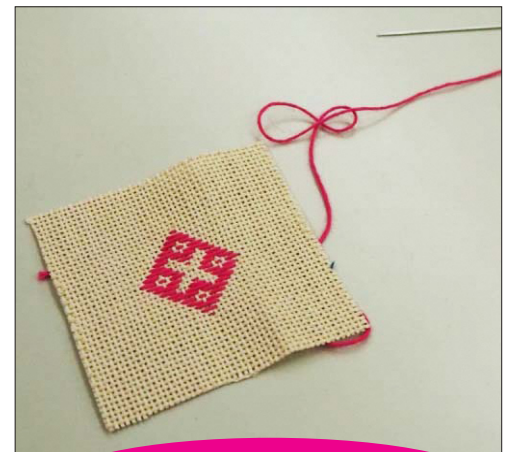
開催時間:2023/7/8【土】9:00~12:00 順次

開催場所:五代多目的集会所 大広間

内容:こぎんフレームの作成(おとなの初心者だと30分くらい?)

参加費:800円 ※材料費、保険料など

服装・持ち物:水分補給用の飲料。
こぎん刺しをやるぞ!という心意気と忍耐力。



参加費 800円

※材料費、保険費用等

申込み:7/2(月)17:00まで
募集人数:15名程度(先着順)
申込方法:右のQRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/izgW8tW1Zxsh1NFn6>



岩木山観光協会 新作ポロシャツ・Tシャツ 販売のお手伝いに行ってきました！

岩木小学校の運動会の数日前。ひそやかに開催されたTシャツ販売会のお手伝いをしました。

今年の新作デザインを、この日初めてお披露目。

この新作デザイン、毎年、世間に出る第1号は岩木小学校の運動会の場面だそう。

先生方が毎年楽しみにしてくださっていて、ポロシャツ・Tシャツのデビューを飾ってくださるそうです。

今年は販売会の翌日にはプレスリリースがされました。

材質・形状は全部で3つ。綿素材のTシャツ、ドライ素材のTシャツとポロシャツ。

Tシャツ類は、今年もカラーバリエーション豊富です！

購入は観光協会にお問合せ(TEL 83-3000)か、ホームページからどうぞ。
<https://iwakisan.com/mtiwaki-goods/>

ちなみに私は、仕事で着れる、カーキのポロシャツを注文しました。
届くのが楽しみです♪



上段はドライ、下段が綿の素材。同じ白でもロゴの配色が違う！
Tシャツは、写真の倍以上のカラーバリエーション有。お気に入りの色を探してください！（ポロシャツは地味色系のみだそうです。）

田植えに参加してきました（葛原）

5月28日（日）、葛原の農家さんの田植えに行っまいりました。
午前は、東京から来られた方たちもいて、17名ほどで実施。
午後は遠方組が出発したので10名ほどで作業をおこないました。

天候はあいにくの雨天。

おとなも子どもも元気で。未就学児2名参加していましたが、ポンチョをかぶって雨をよけつつ、畦を歩き回り…。田植えしているおとな達に癒しを与えていました。

この日は、写真スポットとしても有名な丹鶴庵（弘前市葛原）の下の田んぼの田植えもおこないました。

あいにくの雨で、岩木山・日本家屋・田んぼ…のセットは見れませんでした…。(T T)



田植えのようす。効率よく機械が動けるよう、予備力セットの補充タイミングを見ながらの作業となりました。補充係と補植、苗箱洗いとてんてこ舞いでした。



田植えから3日後に撮影。あいにくの曇り空で風もありました。

昨年消えかけた岩木山・丹鶴庵・田んぼのセット、復活です!!

麻糸産みの講習会、ふたたび！ 7/2（日） @ ANEKKO 交流スペース

今年2月に実施した「麻糸産み後継者養成講座（初級）」を、再び実施します。
今回も前回同様、山梨県にお住いの先生をお呼びして、日本の麻の文化について講義形式で、また、麻の糸をつくる基本の方法を実技で教えていただきます。

実は、前日の7/1（土）には中級講座もおこなうのですが、受講要件が“初級修了者”なので、初級だけご案内いたします。

7/2（土）10時～15時30分

受講料：13,100円（昼食代1,100円含む）

※募集は先着順で、申込フォーム・メール・電話・FAXでお申込みできます。

（広報ひろさき 6月15日号に、募集記事が掲載されています。）

前回は受講料が高いにもかかわらず、10名ほどのキャンセル待ちとなりました。

糸づくりに興味のある方が潜在的に多くいらっしゃる、反面、それを習う場所が近くにない状況である、ということがわかりました。

申込フォーム：

<https://forms.gle/VkFNa71wzvUAWryf7>



※お電話（82-1621）・FAX（82-3118）でも受付けております。



募集中です！

からむしを採取。 実験栽培を始めます

上記の麻と並んで、こぎん刺しを刺した布である麻布をつくった植物・からむし（苧）

今年の3月ころから“津軽のからむし”情報がちよくちよく飛び込んできます。

というか、私が話題にするからかもしれません。

話題に出していたら、「そういえば…」ということで、お会いする方々が記憶を引っ張り出してくださり。

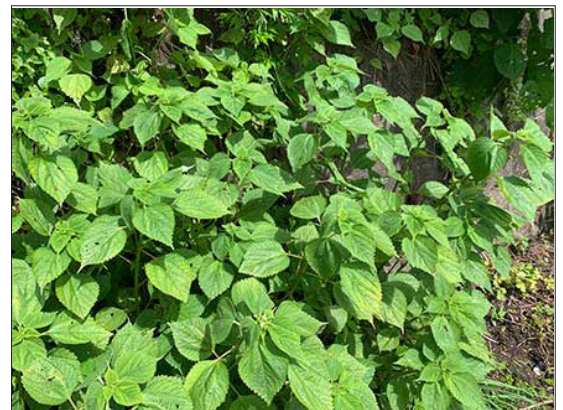
で、このからむし。移植の適期に根を分けていただくことができました。

※からむしは根で広がります。

※残念ながら、岩木地区内のからむしではございません。

産業的に栽培をしている福島県の昭和村の状況を基礎とした複数の資料を参考にし、いただいたからむしの根を畑に移植。

無事、根付いてくれることを祈っております。



（上）自生地で茂るからむし。

（下）からむしはイラクサ科。山菜のアイコの仲間です。

岩木で聞いたからむし(苧)のお話

4月某日。ある方からの「今年何やるの?」という話題ふり。「からむし(苧)の根っこが手に入りそうなので、実験栽培します! うまくいけば、からむしから繊維を取り出して糸づくりまでいけるかもしれません!!」と答えたワタクシ。

すると…、「からむしって、布をつくる糸の原料になるんだ、へえ〜。似たのそこにも生えているよ。」と、20m先の場所を指さし。「うちの孫婆が、俺が子供のころ、こっから刈り取って縄をなっていたもんだ〜。あれ、そういえばからむしと聞いていた気が…」と。

(孫婆<まごばば>=津軽弁で「ひいおばあちゃん」のこと)

そこに連れて行ってもらい、昨年の枯れ草を触ってみてビックリ。枯れて弱くなっているけれど、確かに繊維が。

「これじゃない?」と言われた株を持って帰ったのですが、5月初旬にいただいた根付きのからむしと似ても似つかず。

5月中旬に、その場所を再訪。きちんとからむしが自生していました!(間違えて持ち帰ったのは、セリ科のシャクでした)

教えてくれた方に確認すると、誰も草刈りしなくて困っているエリアだとか。

夏に草刈りがてら、繊維をいただきに行きたいと思います♪



岩木のからむし群生地。昨年の枯れた茎には、この時期でも繊維片がついている。

◆◇ 編集後記 ◇◇

5月中に、新型コロナウイルスの位置づけが変わり、ほんの少しずつですが、マスクなしの生活に戻つつある方をお見受けします。

私も、ウィルスを恐れるよりも、ウィルスに負けない・免疫力の体質を目指していきたいと思います。そのためには畑ですね。良い土に触れ、良い風にふれ、植物の生命力を賛美しながら、今年も畑作業にいそしみたいと思います。

WANTED

杏・梅などの放置果樹

相変わらず、放置果樹を募集しています。

柿は、ご協力くださる方がたくさん見つかりました。

ありがとうございます!

枝切りをするものもあり、「果樹の特性について勉強しなきゃ…」と。世の中、学ぶことはまだまだたくさんあるな、と思いました。

そんな私に、梅や杏など、「提供してもいいよ!」という方いらっしゃれば、お声がけくださいませ!

探しています!



連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsujimura@city.hirosaki.lg.jp

もろもろ情報
お待ちしております!



「いわき探検記」の直近のバックナンバーは、市のホームページからご覧になれます。

古いものは、岩木庁舎でファイルしております。ご覧になりたい方は、岩木庁舎まで。